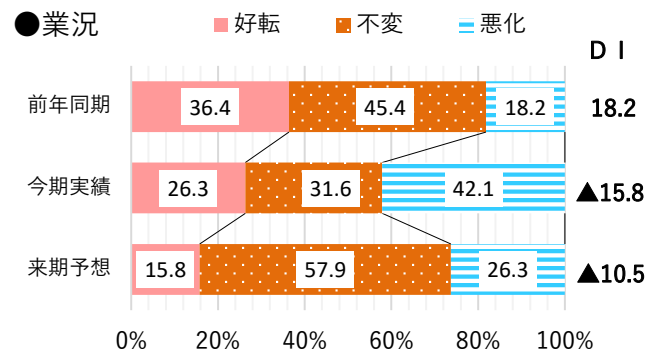


小 売 業

業況、売上、採算

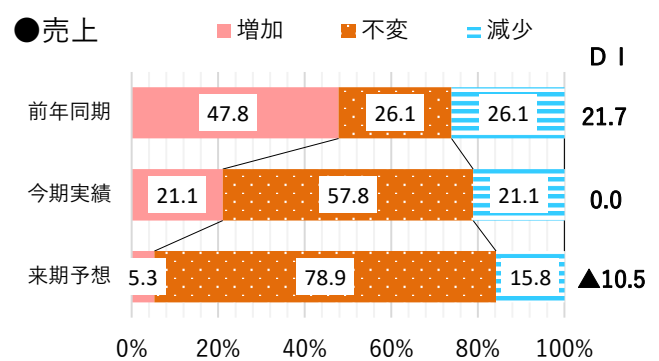
今期（2025.4～6）の業況判断DIは▲15.8で、前年同期（2024.4～6）と比べ34.0ポイントと大幅に低下しました。

来期（2025.7～9）の業況DIは今期（2025.4～6）と比べ5.3ポイント上昇すると予想しています。



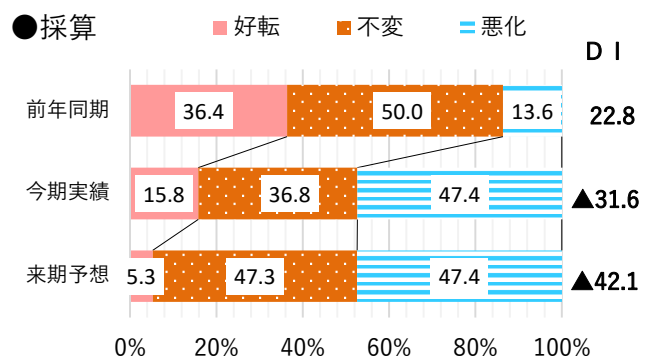
今期の売上高DIは0.0で、前年同期と比べ21.7ポイント低下しました。

来期の売上DIは今期と比べ10.5ポイント低下すると予想しています。

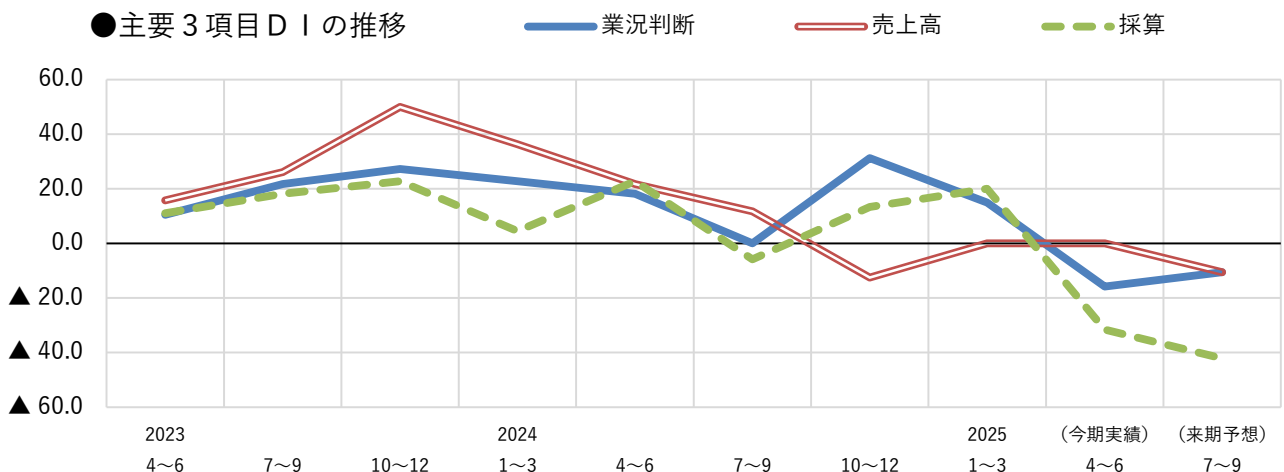


今期の採算DIは▲31.6で、前年同期と比べ54.4ポイントと大幅に低下しました。

来期の採算DIは今期と比べ10.5ポイント低下すると予想しています。



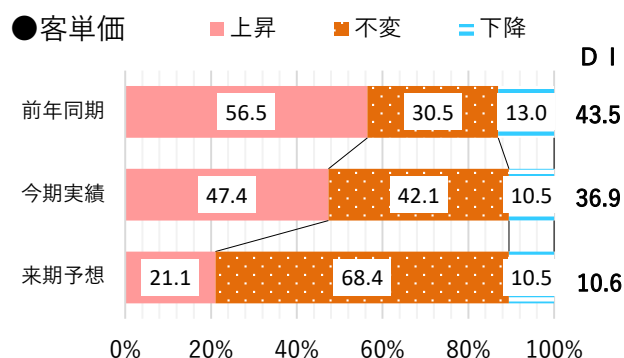
●主要3項目 D I の推移



客単価、客数

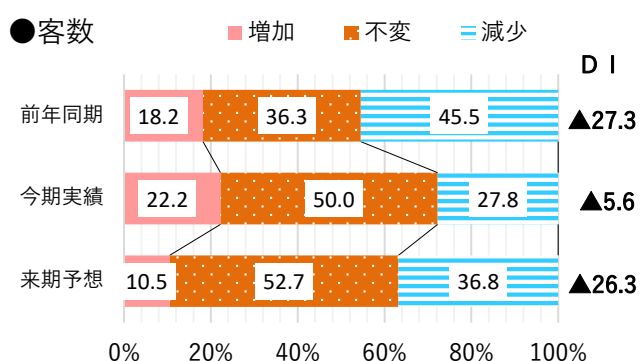
今期の客単価DIは36.9で、前年同期と比べ6.6ポイント低下しました。

来期の客単価DIは今期と比べ26.3ポイント低下すると予想しています。



今期の客数DIは▲5.6で、前年同期と比べ21.7ポイント上昇しました。

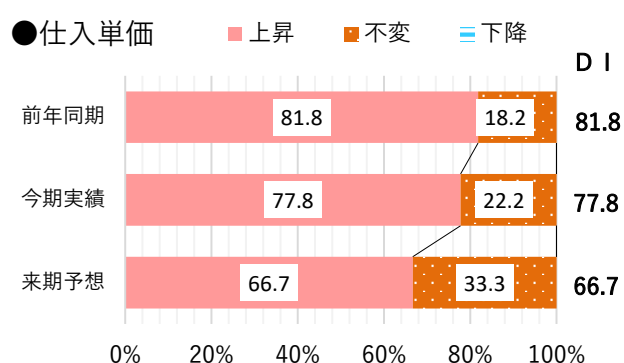
来期の客数DIは今期と比べ20.7ポイント低下すると予想しています。



商品仕入単価、商品仕入額、商品在庫数

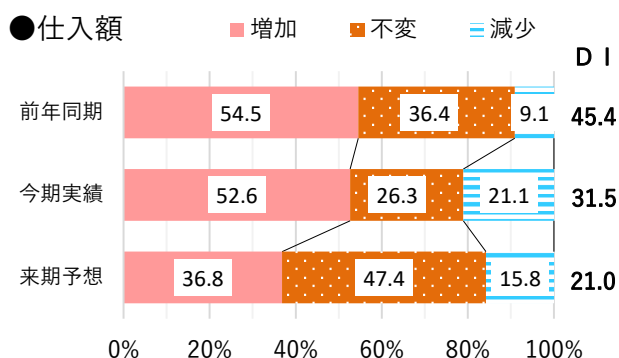
今期の仕入単価DIは77.8で、前年同期と比べ4.0ポイント低下しました。

来期の仕入単価DIは今期と比べ11.1ポイント低下すると予想しています。



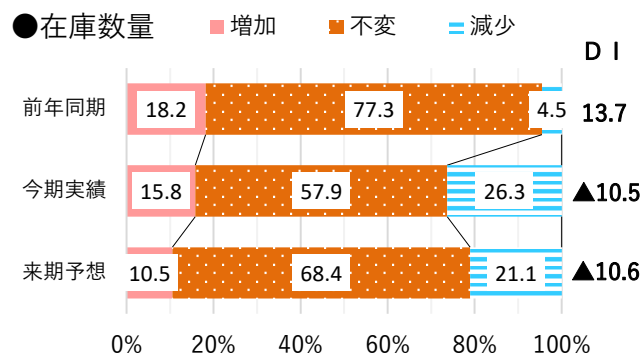
今期の仕入額DIは31.5で、前年同期と比べ13.9ポイント低下しました。

来期の仕入額DIは今期と比べ10.5ポイント低下すると予想しています。



今期の在庫数量DIは▲10.5で、前年同期と比べ24.2ポイント低下しました。

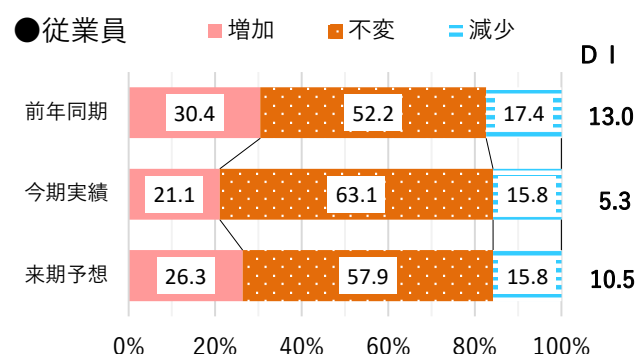
来期の在庫数量DIは今期と比べ0.1ポイント低下すると予想しています。



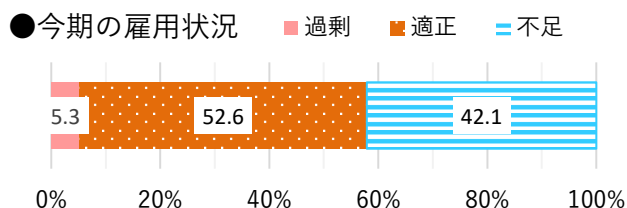
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは5.3で、前年同期と比べ7.7ポイント低下しました。

来期の従業員DIは今期と比べ5.2ポイント上昇すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が適正であると回答した企業の割合は52.6%、不足していると回答した企業の割合は42.1%で、5.3%の企業では過剰であるとの回答がありました。



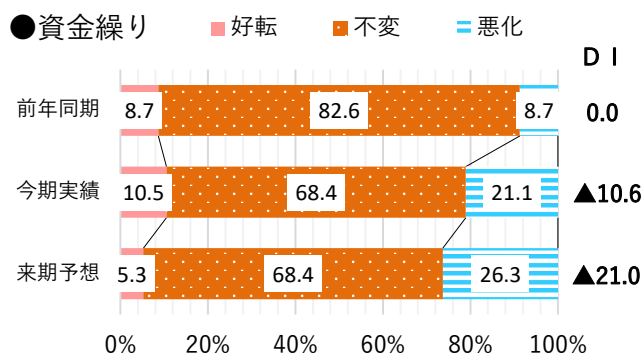
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、42.1%を占めました。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	2
	不足	2
不変だった	過剰	0
	適正	8
	不足	4
減少した	過剰	1
	適正	0
	不足	2

資金繰り、設備投資

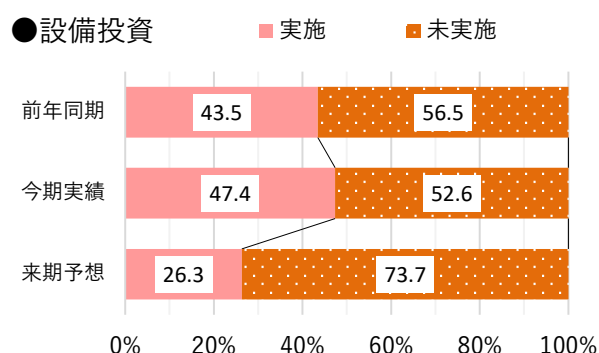
今期の資金繰りDIは▲10.6で、前年同期と比べ、10.6ポイント低下しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ10.4ポイント低下すると予想しています。



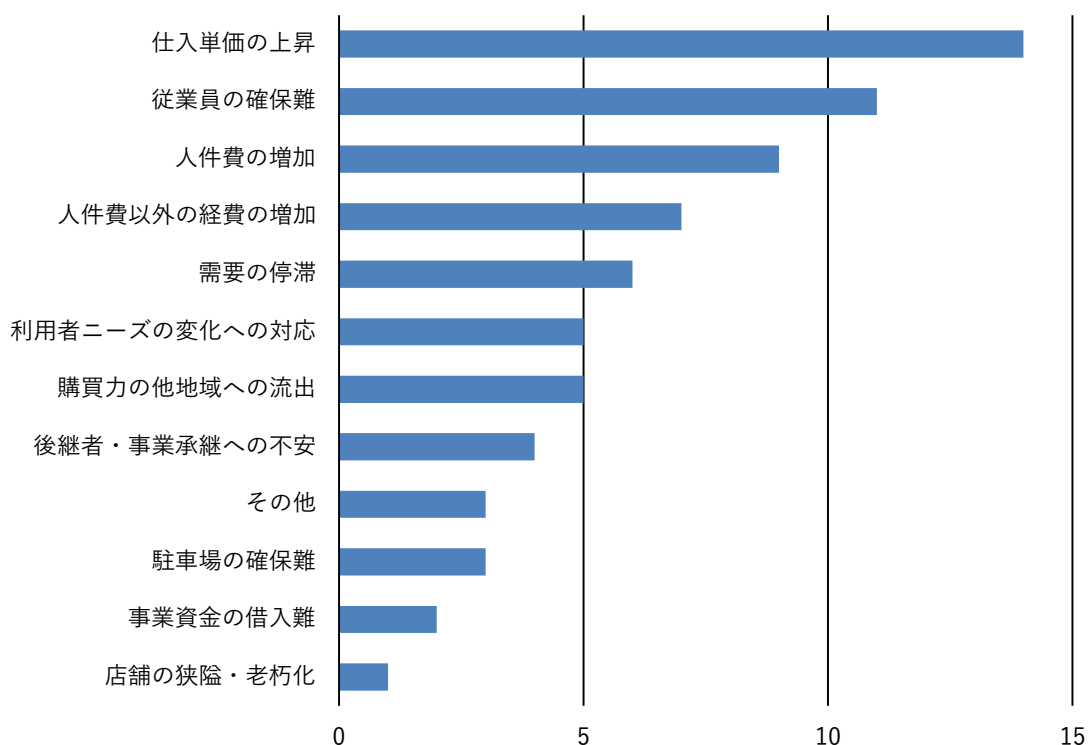
今期の設備投資は47.4%で、前年同期と比べ3.9%上昇しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、2位が「店舗」、「付帯施設」、「O A 機器」（同位）でした。

来期は26.3%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は、1位が「仕入単価の上昇」、2位が「従業員の確保難」、3位が「人件費の増加」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 人材確保は進み、インバウンド売上は伸長しているが、商圈顧客の減少しており苦戦。物価高により単価は上がっているが買い上げ点数の落ち込み、生活必需品以外の物の買い控えもあり、店舗の利益確保が難しくなっている。（大型店）
- 現在、売上減額、客数減、人材確保は高齢化している。（大型店）
- 人材不足（人手不足）が課題。（大型店）
- 高額商品の売れ行き不調により売上が伸び悩んでいる。（ホームセンター）
- 昨年同時期にはエアコン販売が好調で6月まで需要増が続き、その影響が今年の4-6月に出ている。
（家電量販店）
- 原料玄米の不足を原因とする価格の高騰により商品単価が値上がりしている。相変わらず採算は気が抜けないが、商品不足から過剰な価格競争がない分、落ち着いて価格交渉に臨むようにしている。主食である食材を多めに買い込む傾向が見られ、単価が高いが、販売数量は減ることなく堅調に推移している。また、観光関連施設や飲食店向けの需要は4月は増加傾向だったが、5月からは若干落ち着いているように感じる。（食料品小売）
- 売上減少、利用客数減、人材不足によるタイミー利用、最低賃金の上昇等の影響を受けている。
（コンビニ）
- 仕入価格の上昇が利益を圧迫している。効率よく作れる様改善したい。（菓子製造小売）
- 原材料、包装資材の値上げに苦労している。（菓子製造小売）
- 車両イヤーモデルチェンジと連動し価格上昇した。（自動車小売）
- 新車の販売が好調。（自動車小売）
- 仕入価格増加でも利益確保できた。（燃料小売）
- 売上は昨年と比べて少し下がっているが、単価の高い商品がたまに売れるので、そんなに変わってはいない。仕入れはメーカーが価格を上げているので、辛いがその分、数で調整している。（時計・メガネ）

[来期の業況について]

- 来期も同様の状況が続くと予想されるため、集客施策を増やして対策をしていきたい。（大型店）
- 来期も売上減額、客数減、人材確保が課題になると考えている。（大型店）
- 人材不足（人手不足）が課題。（大型店）
- 昨年のエアコン特需が6月で終わり7月からは減少していた分今年は増収が見込まれる。（家電量販店）
- 原料玄米の価格の推移がまったく読めないため、見通しは立っていない。とにかく高品質のものを必要な数量確保するよう全力で取り組みたい。（食料品）
- 今期と同様の状況になると予想している。（コンビニ）
- 多種の値上げによる利益の減少を懸念している。（菓子製造小売）
- EV新機種投入も4WD車が無い為、大きな変更は見込めない。（自動車小売）
- 客数が増加しているので売上に繋がると期待している。（自動車小売）
- 今期と同じような状況とみている、上がることはなく、よくてほぼ不変と考えている。（時計・メガネ）